



# 若竹だより



【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等



分校建設状況

## 【巻頭言】

### お接待

園長 宮竹 恒

2月23日（木）「NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク」主催の『一日一斉おもてなし遍路道ウォーク』に子どもたちと職員がお接待として参加しました。

子どもたちが作った手づくりクッキーでお接待させて頂きました。前日にクッキー



を作り、ラッピングをして当日を迎えたので気持ちの準備も整っていたようです。最初は、戸惑いがある子どももいましたが、お遍路さんに「お疲れ様です」「お菓子をどうぞ」とお接待をすることが出来ました。お遍路さんに感謝の言葉をかけられると、嬉しそうな表情

をしていました。

子どもたちは『私たちの願い』の「よろこんで与える人間となろう」を



実践し、実感することが出来たと感じました。コロナ禍は続いておりますが感染症対策を行い、お接待活動を継続したいと思います。一了一



2月9日（木）に思い出旅行としてレオマワールドに遊びに行きました。一昨日、昨年と新型コロナウイルスの影響により、思い出

旅行に行くことができませんでしたが、今年は感染対策を十分に行った上で思い出旅行を実施しました。今回は、子どもたち一人につき一人職員が引率する形をとり、より大人との個別の関わりをもてるように工夫しました。

子どもたちは、乗り物にたくさん乗ったり、



食事を楽しんだり、お土産をじっくり眺めたりと、思い思いの自由時間を過ごしていました。



バイキングでは、食べる量が少ない子どもも寿司や Pastaなどを何度もおかわりをしていました。始めてバイキングを体験した子どもは、行くまでは悩んでいましたが、他の子どもに誘われ会場に入ると目を輝かせながら、自分の好きな食事を選びお腹一杯食べていました。デザートでは、自分の好きな物でオリジナルなドリンクを作り職員に振舞っていました。



帰園後、初めてのことに挑戦することが苦手な子どもから、「乗ったことが無い乗り物に乗ってみたら、予想以上に楽しかった。」

「お化け屋敷が怖そうだなと思っていたけど、入ってみたら楽しかった。いい思い出になった。」と話してくれました。また、「バイキングでたくさん美味しいものを食べることが出来て嬉しかった。」「お土産に可愛いキーホルダーを買った。」などと子どもたち同士でもそれぞれの思い出を嬉しそうに話していました。



今回の思い出旅行が、子どもたちにとって良い記憶となり、ふと思い出した時に楽しかったなと感じてもらえたら嬉しいです。

**【番外編】**あまり自分以外のことに興味がない子どもが急に、レオマのお土産に花を買いたいと相談があった。理由は『花を育てたいから・・・』それだけである。残念ながら花を売っているお店はなかった。職員間で相談し、本人の今の気持ちに寄り添うことに決定！職員と一緒に耕すところから始め、チューリップの苗を植えました。

毎日の水やりに張り切っていました。



## 青峰・若竹学級だよ

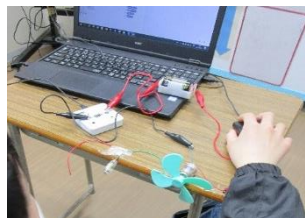
### 学習の様子

小学校第6学年の理科「電気と私たちの暮らし」の単元では、発電や電気の有効利用について学習し、身の回りで電気はどのように作られ、利用されているのかに興味をもちました。

総合的な学習の時間で「五色台子どもおもてなし処」に行った際に、太陽光発電設備の存在や電線が若竹学園の施設に繋がっていることに気が付いていました。



また、人が近づくと明かりがついたり、温度上昇するとファン回ったりするプログラムをつくり、プログラミングした通りに器具が動くと、とても嬉しそうでした。



### 学年末テスト&お楽しみ

21日から24日まで、学年末テストを実施しました。24日には小学生もテストを受け、今年の学習の成果を発揮しようと、一生懸命取り組む姿が見られました。



テスト終了後は、小中合同の調理実習で蒸しパンケーキを作りました。班で協力したり自分が選択した材料で味付けしたりして、楽しい時間になりました。

### 凍った滝を目指して…

若竹学園から細い山道を下っていくと、「不日見の滝（ひみずのたき）」に行ることができます。

数年前に四国新聞に掲載されたことがありましたが、一般にはあまり知られていない滝で、身近な秘境とも言える場所です。気温が低い日が続いたため、氷瀑が見られるかもしれないと期待して、小中学生全員で出かけました。



残念ながら滝全体が凍っているという状態ではありませんでしたが、数か所できている氷瀑が見られました。子どもたちは、いくつかのつららや、一度凍ったものが落ちて積み重なっているものを集めて、冬の自然現象を楽しく体験することができました。



冷たさと戦いながら、氷を学園に持ち帰る子どももいました。





# 節分



2月3日、園内で、豆まきをしました。職員2名が鬼役をしました。女子フロア、男子フロアで待機する子どもたちが、袋入りの豆を鬼に投げ厄払いをしました。

男子では、普段活動的でない子どもが、熱心に豆をまいていました。女子では、鬼がかぶっているかつらを自分で被ってみたり、鬼の金棒を手に持って喜んだり、楽しみながら鬼と戯れていました。鬼の方は、疲れてハアハアと言いながら事務所に駆け込んできました。どうやら子どもたちで鬼退治ができたようです。豆まきで使った豆は、おやつとして美味しくいただきました。

## バレンタインデー

14日のバレンタインデーに備え、チョコレートクランチを全員で作りました。クッキーやナッツなどを協力して細かくし、とろけるような溶かしたチョコに入れ、冷やし固めました。美味しく出来上がって皆も満足そうな様子でした。



## 2月行事

3日	節分
9日	思い出旅行
11日	図書館
12日	バレンタインチョコづくり
18日	おやつ作り
23日	遍路ウォークお接待

### 在籍人数

令和5年3月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	3	0	3
中学生	7	1	8
合計	10	1	11

ご寄付ありがとうございます。

延命寺様

もみじまんじゅう沢山

### 編集後記

分校の工事も、バリケードが取り外され、園庭も広々と使えるようになりました。いよいよ開校が近くなり、新しい学校で授業を受けるのが待ち遠しいと子どもたちも話していました。

井上

### 第437発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192  
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160  
 ホームページ <http://4on.or.jp>  
 Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)  
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員  
 発行責任者 宮竹 恒

